

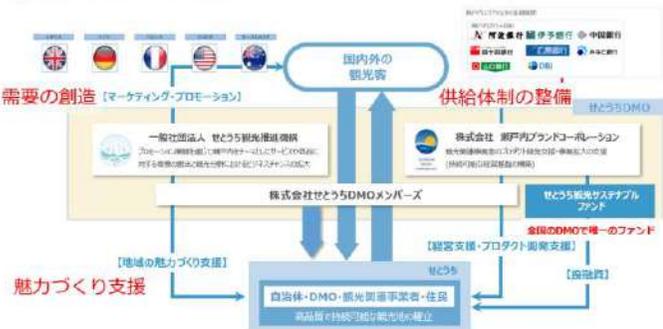


策定主体

対象エリア ※7県の48市町

**せとうちDMO**  
 ・一般社団法人せとうち観光推進機構  
 ・株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション

せとうちDMO概念図



**【連携した関係者】**  
 せとうち7県、基礎自治体48、DMO・観光協会、DMC・ランドオペレーター、交通事業者  
 その他、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会(GSTC) スーパーヨット誘致協議会、日本コンシェルジュ協会、レ・クレドールジャパン など



マスタープランの意義・役割

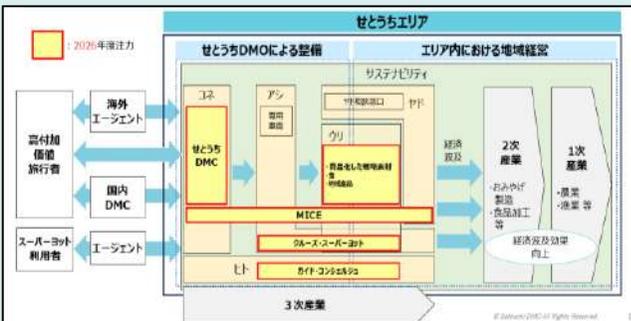
本マスタープランは2023年度に、広域なせとうちエリア（兵庫県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県の7県のうち参加自治体48）を一体的に高付加価値なインバウンド観光地にするための指針、各地域の高付加価値旅行者の誘客戦略の一端を担うものとして定めたもの。今般2025年度の取組を踏まえて見直しを行った。

2026年度の方向性

項目	2025年度総括	2026年度の方向性
サステナビリティ	せとうちサステナブル協議会の立ち上げとGSTC研修の継続	せとうちサステナブル協議会を通じた国際認証取得のサポートとGSTC研修の継続（モデル事業外での実施）
ウリ	・自治体でブランディング、戦略素材の選定が確定 ・APSSの誘致成功	戦略素材の積み上げ、磨き上げ、SY誘致による認知度向上、食・地域産品やクルーズのコンテンツ造成
ヤド	高付加価値な宿泊施設の理解促進セミナー、宿泊施設開発計画策定	需給バランスを事業者・自治体と共有。必要容量を踏まえ、誘致・改修を検討。公有地情報を整理し、優先地域から個別相談を開始。
ヒト	スルーガイド、ホスピタリティ人材育成研修の実施	スルーガイドやホスピタリティ人材育成研修の継続とコンシェルジュFAMの実施
アシ	二次交通及びドライバーガイドの実証事業を実施	岡山エリアでのドライバーガイド実証事業やチャータークルーズの事業化検討、空飛ぶクルマのポートや需要検証などでの連携
コネ	ランオペ機能の強化やDMC機能の向上	ネットワークや組織の強化、情報発信や営業の継続
推進体制	参加市町における継続的なコンテンツ造成支援実施	コンテンツ造成支援の継続とDMCとの連携による販路拡充

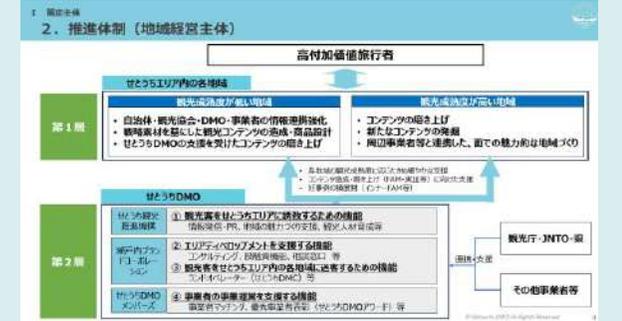
ウリ・ヤド・ヒト・アシ・コネの関係性

2025年度の取組を踏まえ、ウリ・ヤド・ヒト・アシ・コネが相乗的な機能発揮を果たすため、より解像度の高い商流フロー図を念頭に置き、効果的な各施策を実行していく。



地域推進体制

せとうちDMOと地域が連携をしてエリアの高付加価値化を図る中、DMOが地域の観光成熟度に応じた支援を行い、誘致・受入れ等に必要な機能を補完していく。



成果目標（一部抜粋）

(単位 旅行消費額：億円、延べ宿泊者数：万人泊)

項目	対象	2024年実績	2025年見込	2026年目標	2027年目標	2028年目標	2029年目標	2030年目標
旅行消費額	せとうち7県外国人	1,873	2,422	2,863	<b>3,435</b>	4,466	5,805	<b>7,500</b>
	うち対象5カ国	441	506	729	<b>911</b>	1,230	1,661	<b>2,250</b>
延べ宿泊者数	せとうち7県外国人	490	601	689	<b>792</b>	990	1,237	<b>1,550</b>
	うち対象5カ国	104	124	154	<b>177</b>	221	276	<b>350</b>